SDGs／社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会では 16 の目標に取り組んでいます

（※取り組み事例 一部）

◇共生社会の実現

・インクルージョン（共生）社会を目指し、障害福祉サービス等を展開
・利用者とともに社会貢献活動を積極的に実施（海岸や地域の清掃活動等）

◇就労支援の推進

・利用者の就労移行、定着支援を推進（委員会、プロジェクトの設置等）
・利用者の工賃向上に取り組む

◇人権の尊重

・利用者の権利擁護の実現を推進（接遇向上･虐待防止委員会の設置等）
・利用者の意思決定支援の実践を推進（当事者活動委員会の開催、あり方検討会の設置等）

◇農福連携事業の推進

・利用者の働く場、活動の場の提供
・地域課題（農業従事者の減少や耕作放棄地の増加など）に貢献
・地域交流を促進（農作業を通じた幼稚園との交流等）
・利用者の工賃向上に取り組む（福岡県主催のマルシェなどで野菜等を販売）
・「SDGs ソーシャルファーム推進プロジェクト」（行政･大学･株式会社･社会福祉法人で構成）に参加

◇健康管理の推進

・利用者を対象とした健康診断の実施
・利用者の健康増進及び疾病予防に取り組む（健康課題の把握等）
・「いくせいかい診療所」の開所
・法人管理栄養士による給食サービスの向上
・法人管理栄養士による健康増進のための学習会の実施（利用者対象）
・職員の健康維持･増進に取り組む（健康増進委員会の設置等）
・ストレスチェックの実施（リサイクル工房の従業員(利用者)、職員対象）

◇エコアクション 21 の取り組み

・日明･本城両リサイクル工房が平成 28 年 5 月に認証･登録
・両リサイクル工房の従業員（利用者）、職員で二酸化炭素や廃棄物等の排出量の削減、資源化率の向上などに取り組む
・取り組み内容を環境レポートとして公表

◇働きやすい職場環境の推進

・ハラスメントのない働きやすい職場環境の実現に取り組む（ハラスメント防止委員会の設置、アンケートの実施等）
・介護休業、育児休業、子看護休暇、介護休暇など福利厚生制度を整備
・職員のメンタル面の健康維持増進に取り組む
・法人主催で資格取得のための試験対策講座を開催

社会福祉法人 北九州市手をつなぐ育成会は、障害福祉を通して農業、健康、教育など SDGs（持続可能な開発目標）に取り組んでいます。

SDGs とは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001 年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。（外務省 HP より）

＜17 のゴール＞

1 貧困をなくそう
2 飢餓をゼロに
3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなに　そしてクリーンに
8 働きがいも　経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任　つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさも守ろう
16 平和と公正をすべての人に
17 パートナーシップで目標を達成しよう